

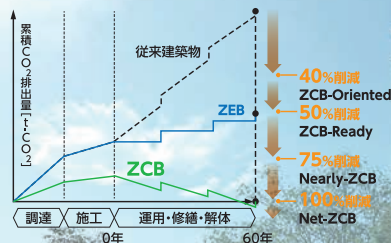
そのビルは、ライフサイクルの中で、CO₂収支を「ゼロ」にします。

大成建設グループは、国内初となる「ゼロカーボンビル (ZCB)」を目指し、次世代技術研究所の建設を進めています。

CO₂の削減量収支

-104%

(見込値)



■ゼロカーボンビルチャート
(建物ライフサイクルとCO₂排出量の関係)

CO₂排出量の算定結果より、研究管理棟のライフサイクル全体で排出されるCO₂の削減量収支は、標準建築物に対して-14,221 t-CO₂(標準建築物比:-104%)となり、カーボン・ネガティブとなる見込みです。



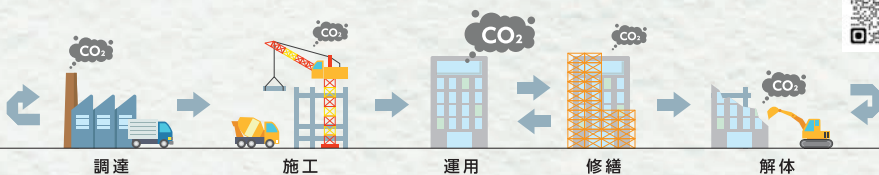
T-ZCB Zero Carbon Building

大成建設グループ次世代技術研究所 研究管理棟

建築物のライフサイクルにおけるCO₂排出量のイメージ



大成建設のT-ZCBについてはこちら。



ゼロカーボンビル T-ZCB による評価

大成建設独自に開発したシステム「T-ZCB」で各段階におけるCO₂排出量と削減効果を可視化。

建物のライフサイクルにおけるCO₂排出量削減のため、各段階でさまざまな取り組みを進めます。

Zero Carbon Design

調達段階

環境に配慮したさまざまな技術、材料の導入により、標準建築物に比べ約10%のCO₂削減を実現。

Zero Carbon Construction

施工段階

環境負荷を低減するさまざまな技術、機械、燃料などの導入や取り組みにより、施工時に発生するCO₂排出量ゼロを実現。

Zero Carbon Operation

運用段階

各種先進的省エネルギー技術と太陽光発電等の創エネルギー技術を活用し、建物ライフサイクルでCO₂収支が最も多い運用段階のCO₂収支においてカーボン・ネガティブを目指す。

修繕・解体段階

建物修繕回数の削減やCO₂排出量を削減した資機材を用いた解体により約15%のCO₂を削減。



大成建設グループ

大成建設 大成ロテック 大成有楽不動産 ピーエス・コンストラクション 大成ユーレック 大成設備
成和リニューアールワークス 大成有楽不動産販売 大成建設ハウジング 佐藤秀 大成情報システム 他